



復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成 23 年 1 0 月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を発行してきました。

東日本大震災 10 年 鎮魂と地域再生へ祈り深く ペイサイドアリーナで追悼式典

令和 3 年 3 月 11 日、東日本大震災発生から 10 年を迎えました。南三陸町では午後 2 時 30 分から町総合体育館を会場に大震災追悼式を行いました。コロナ禍で 2 年ぶりとなる式典には、マスク姿の約 800 人が参列。冒頭には国の追悼式が中継され、内閣総理大臣の式辞と天皇陛下のお言葉が放送されました。続いて佐藤仁町長が式辞を述べ、遺族の岩石桂惟さんのメッセージが代読で紹介されました。献花台には遺族代表、佐藤町長らの献花を皮切りに参列者が花を手向け、祭壇に手を合わせました。

10 年の節目の年とあって、首都圏など町外からの来訪者も多く、献花者は 1,100 人を超えました。

さんさん商店街から中橋を渡り、昨年 10 月 12 日に全体開園した震災復興祈念公園へ向かう人の姿



(復興祈念公園に向かう人の姿が終日見られた)

が一日中途切れず、旧防災対策庁舎や海を望む祈りの丘では犠牲者の冥福を祈る姿が多く見られました。

南三陸警察署新庁舎完成 3 月 22 日業務開始

震災の津波で被災し、移転再建された南三陸警察署が完成し 3 月 17 日、関係者や報道陣に公開されました。新庁舎は、志津川新井田地内の国道 45 号沿いの造成地約 5,400 平方メートルを県が取得して建設されました。鉄筋コンクリート 3 階建てで、延べ床面積は約 1,970 平方メートル。駐車場は 60 台分整備されました。南三陸消防署に隣接し、震災から丸 10 年を経て、住民の安全・安心を守る防犯、防災の拠点の完成です。

刑事課や交通課など 7 課体制で、業務開始は 3 月 22 日。同 23 日付で武田一宏署長が着任します。

昭和 58 年に志津川塩入地内に完成した旧庁舎は、大震災の津波で庁舎屋上まで浸水し、建物は現存したものの使用不能に陥りました。平成 23 年 4 月、さんさん館 (旧林際小学校) に拠点を移した後、同年 10 月に志津川沼田地内に仮庁舎が完成し、現在まで業



(完成した南三陸警察署の新庁舎)

務を行ってきました。

町内では震災以降、平成 30 年 2 月に入谷駐在所が移転・運用開始、同 30 年 3 月に戸倉駐在所が、令和 2 年 4 月に歌津駐在所がそれぞれ移転再建しました。

戸倉地区に追悼の場完成 きぼうの桜植樹式

震災から 10 年になるのを前に、戸倉地区に追悼の場が完成し 2 月 22 日、追悼モニュメントの除幕式と「きぼうの桜」の植樹式が行われました。

戸倉公民館で行われた式典には、地区住民の代表と戸倉小の児童など約 40 人が参加。(財)ワンアースの長谷川洋一代表理事が、若田光一宇宙飛行士とともに宇宙を旅した宇宙桜を津波到達地点上に植える「きぼうの桜」計画の概要を説明。公民館敷地東側の志津川湾を望む「追悼の場」では、戸倉小の 6 年生 8 人が「未来へつなぐ命のバトン」と刻まれたモニュメントの除幕を行い、2 鉢ほどの宇宙桜の苗木を植えました。桜は高知県仁淀川町から贈られた樹齢 500 年の「ひょうたん桜」の種から育てられ



(追悼の場に設置されたモニュメントと戸倉小の児童)

た巨桜の直系の子孫。公園の桜の数倍巨大化し、百年後には樹高 30 鉢以上になるという希少品種です。

復興みなさん会「新しい東北」復興・創生 顕彰受賞！ 仙台サンプラザで顕彰式開催

2 月 22 日午後、仙台サンプラザにて令和 2 年度復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰の顕彰式が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般参加者は Youtube にて観覧する形で開催されました。応募総数 149 件の中から選ばれた 10 団体 1 個人の受賞者が参列しました。

南三陸町の復興みなさん会からも後藤一磨代表理事が出席し、東北復興局の英（はなぶさ）局長より顕彰状と記念の盾を受領しました。顕彰式に続く受賞団体の活動紹介では、高田篤会員が、復興みなさん会が取り組んできた地域課題、活動の経緯、今年度の活動内容について報告しました。



(英局長から顕彰状を頂いた後藤代表理事、写真＝復興庁)

【あとがき】

今年、2 月中旬には土手の片隅に福寿草が咲きました。今月で震災から 10 年になります。町の復興も防潮堤や河川堤防、国道工事などのハード面は最終段階に入っています。

新しい年に入ってもコロナ禍で各地区の行事は、軒並み中止や簡素化を強いられています。災害復興公営住宅や防集団地では、健康体操や百歳体操などが行われていますが、今冬は雪も多く、外に出てコミュニケーションをとる機会も限られています。住民の心と身体の健康悪化が懸念されます。

先日、歌津総合支所で「ハマーレ歌津」前広場の整備計画の説明会がありました。来年度初めには芝生広場に子供たちや家族連れ、高齢者などの明るい声が響きそうです。広場に桜を植樹して下さる団体もあるそうです。感謝しながら町の復興を見守りましょう。

「通信」休刊のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、「南三陸復興まちづくり通信」の発行を当面休止いたします。人の流れや行政の動きがストップし、イベント中止などが相次ぎ、取材活動が制限され、紙面を構成するのが困難と判断いたしました。読者の皆様のご理解を切にお願い申し上げます。

当会は、中日新聞社会事業団東日本復興支援金、県共募みやぎチャレンジプロジェクト、仙台銀行まちづくり基金、みやぎ地域復興支援助成金、おらほのまちづくり支援事業および東日本大震災現地 NPO 応援基金[緊急助成]のご支援をいただき活動しています。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com